

令和2年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	穂の国とよはし芸術劇場
所在地	豊橋市西小田原町123番地
指定管理者	(公財)豊橋文化振興財団
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
担当課	文化・スポーツ部「文化のまち」づくり課(0532-51-2873)
令和元年度指定管理料(決算)	72,938千円
令和2年度指定管理料(決算見込)	67,179千円

項目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	維持管理業務は特別目的会社が行っている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業が非常に限られる形となったが、そうした制約の中でも、優れた舞台芸術に接する機会を市民に提供する事業及び、若手アーティストの育成に繋げる事業を実施している。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	事業計画書とおりに適切に人員配置がされており、労働環境は関係法令等が遵守され適正なものとなっている。今後は更に、内部での情報共有を図り、チェック体制についても再度精査する必要がある。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	事業計画書に基づき定期的に研修が実施されている。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	協定書等の個人情報保護規定、公益財団法人豊橋文化振興財団個人情報保護規定に基づき適正に管理されている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	マニュアル、非常連絡網が整備され、定期的に避難訓練等も実施されていることから、十分な取り組みがなされている。				
施設利用状況に関する事項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	利用者の決定は、規則・要綱に則り適正に行われている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。(利用状況を数値化して平成30・令和元年度を比較)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	比較(R2-R1)
			開館日数	348日	349日	308日	▲41日
			利用者数				
			a.主ホール	110,312人	101,713人	32,720人	▲ 68,993人
			b.アトスペース	37,841人	33,651人	11,950人	▲ 21,701人
			c.創造活動室	26,941人	24,071人	9,374人	▲ 14,697人
			d.研修室	16,906人	16,573人	5,594人	▲ 10,979人
e.交流スクエア	61,253人	53,349人	19,069人	▲ 34,280人			
計	253,253人	229,357人	78,707人	▲ 150,650人			
		【要因分析】新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館や施設利用の中止・自粛要請、自主事業の公演中止・延期などにより、利用者数は、主ホールで前年度比△68%、アトスペースで△64%、全体では△66%と全ての部屋で前年度を大きく下回った。					
サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやメールマガジン、劇場フェイスブック、劇場広報誌をはじめとする各種広報活動により、イベント情報の発信、施設PRを効果的に行っている。</li> <li>・劇場の特性を活かした自主事業の実施により、利用者サービス、施設の認知度向上に努めている。</li> <li>・芸術文化に関する高い専門性と豊富な経験、知識を有する職員を配置することで、質の高い舞台芸術公演を実施し、市民の鑑賞体験を蓄積するとともに、市内外からの来場者を増やすことでまちなか活性化にも貢献している。</li> </ul>					

施設利用状況に関する事項	利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査（アンケート）等を実施し、業務改善を実施しているか。（指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく）	・アンケート調査を実施（令和2年12月） 施設運営に関する総合的な満足度 満足・やや満足…87.5% やや不満・不満…6.3% わからない…6.3% アンケート結果から、施設に対する総合的な満足度は高いと考えられる。			
	意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容		対応	
			—		—	
			—		—	
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	適切かつ迅速に行われている。				
管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に行われている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し、適正に経理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	コロナウイルス感染症の影響から、収入も支出も予算より少なくなった。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	67,179千円	指定管理事業費	140,921千円
			利用料金収入	16,470千円		
			自主事業収入	18,226千円		
その他収入	34,433千円					
		収支差額		▲ 4,613千円		
指定管理者の自己評価	<p>穂の国とよはし芸術劇場は、開館8年目となり、自主事業や貸館事業により多くの利用者を受け入れる芸術文化交流施設として、演劇、ダンス、音楽を通じて市民の文化的生活を向上させる公共の場を提供することを目的としています。</p> <p>コロナ禍において、利用者及び関係者が安心して施設利用ができるようアルコール消毒液の設置やサーモグラフィカメラを整備するほか、楽屋などの感染防止対策も配慮し、適正な維持管理・運営を行いました。また利用者が密にならないよう啓発と共にチケットの窓口販売を抑制するためのSNSの活用や事業中止等に伴うチケット払い戻しなどに郵送を取り入れるなど、きめ細かな対応と情報発信に努めました。</p> <p>収支状況については、厳しい利用制限などが影響し、指定管理事業や自主事業収入が減少しましたが、指定管理事業については市からの支援金で補てんされたため、安定した事業継続を行うことができました。</p> <p>自主事業としては、年度前半は多くの公演が中止・延期となりましたが、10月以降は補助金を活用した入場制限や映像配信による舞台芸術の鑑賞機会の創出とともに、東三河高校演劇部支援や若手音楽家育成事業などの舞台芸術人材育成事業などを実施し、東三河市民の芸術文化活動の拠点として安心して市民の方が楽しんでいただける機会を継続することができたものと評価しています。</p>					
総合評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により利用が激減し、苦しい運営を強いられた1年であった。しかしながら、そのような状況の中でも諸室にアルコール消毒液を設置したり、サーモグラフィカメラによる入場前検温を実施するなど、感染症対策をしっかりと行い、安心して来場していただける環境づくりに努めている。そして、イベント情報の発信や施設PRを効果的に行いながら、優れた舞台芸術鑑賞の場の提供と「プラットフォームコンサート」といった若手アーティストの育成事業を継続し、若手音楽家には発表の場を、市民には気軽に鑑賞する機会を提供し続けたこと、また、休館中に【若手音楽家育成事業2020演奏動画プロジェクト】としてリモートアンサンブルの動画を作成・配信し、人々と劇場との繋がりを絶やさないような努力をした点は評価できる。</p> <p>今後も社会情勢に対応しながら、優れた舞台芸術に触れられる劇場として運営していくことを期待する。</p>					